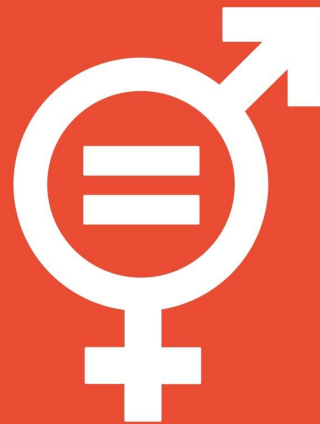


ジェンダー平等 私たちができること

長野県上田染谷丘高校 1 年 1 組 氏名 武井美結

**この課題に関わる
SDGsの番号**

5 ジェンダー平等を
実現しよう



テーマ設定の理由

最近、SNSでLGBTを公表する人たちをよく見かけるようになり、ジェンダーについて調べたくなった。

性の問題は、LGBTなどの性的マイノリティだけでなく、生物学的な「男」と「女」のジェンダーの間にもあると知って、どのような問題・課題があるのか興味を持った。

私たちが、ジェンダー平等のためにできることを考えてみようと思った。

現状

――
1. 6歳から11歳の子どものうち、一生学校に通うことのできない女の子は、
男の子の**約2倍**

→ 女性は家庭の仕事、男性は職場での仕事という考えから？

- ・ 教育や風習でも、女性是不利であることがある
- ・ 発展途上国では、女性が性的に酷いことをされる事件が多い

2. 所得の低い**男性への偏見**

→ 女性は家庭の仕事、男性は職場での仕事という考えから？

- ・ 「男性は働いて家族を養うべき」など

→ 未婚社会

課題

-
1. 女性と男性が**同じ権利**を得られていない
 2. 女性は男性より身体的に力が弱いため、立場的にも**男性より下になる**ことが多い
 3. **女性は家の仕事、男性は職場での仕事**が普通であるという認識が根強い

解決策・提言

1. 法律に従って、女性の持てる権利と男性の持てる権利とに差ができないようにする

2. 女性も男性も同じ基準で評価されるような社会にする

～私たちができること～

1. 選挙に行く

→ジェンダー平等など、意見を伝えてくれそうな政治家を選べるよう政策を見ておく

2. 相手を思いやる

3. ジェンダーの問題について調べ、**偏見を持たないようにする**

感想

ジェンダー平等といえは、「女性は男性より社会的地位が低い」という問題だけのイメージがあったが、**男性に対しての偏見もある**ことがわかった。

女性も男性も、お互いを理解しようと**相手のことを思いやる**ことが、一番些細で、大事なことなのではないかと思った。

本当の意味で、性差がない「男女平等」な世界ができたらいいと思った。

出典

SDGs CLUB→ <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/5-gender/>

<http://uis.unesco.org/sites/default/files/documents/new-methodology-shows-258-million-children-adolescents-and-youth-are-out-school.pdf>